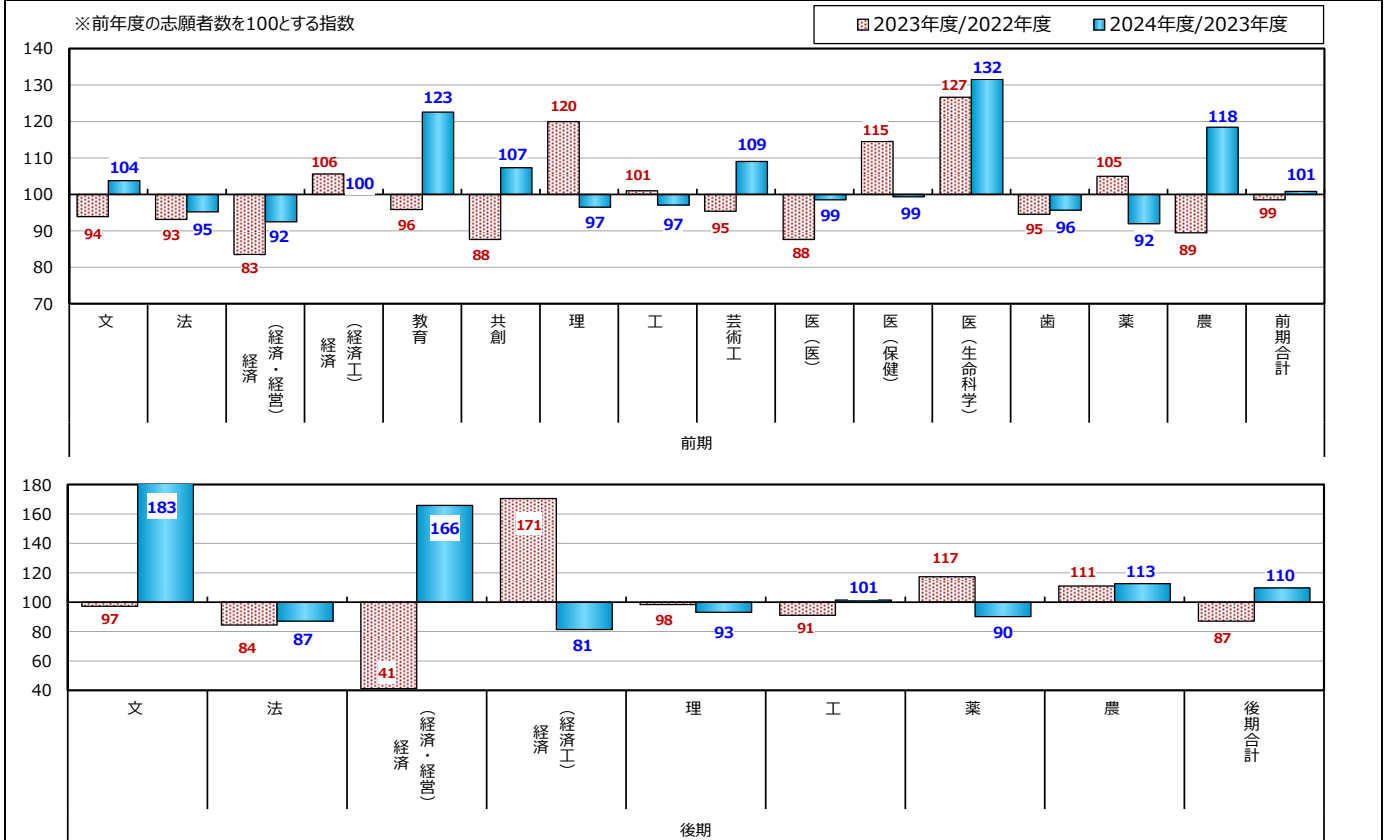


九州大：大学全体では前期は前年度並、後期は併願先として狙われて増加 前期：+40人 後期：+215人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は40人(101)の微増で前年度並。志願倍率は4年連続ほぼ2.6倍で大きな変化なし。文理別では、文系は8人(101)、理系は32人(101)のいずれも微増で前年度並。後期は前期最難関大志願者の併願先として狙われ、215人(110)の増加。文理別では、文系は236人(136)の大幅増加。文(183)、経済(経済・経営)(166)の激増が目立った。理系は21人(99)の微減で2年連続前年度並。

<前期日程>

- 文(104)は、前年度やや減少の反動でやや増加。
- 法(95)は、2年連続やや減少。志願倍率は5年ぶりに2.6倍を下回った。
- 経済(95)は、やや減少で3年連続減少。志願倍率は8年ぶりに2.6倍を下回った。学科別では、文系の(経済・経営)(92)は前年度大幅減少に引き続き減少。理系の(経済工)(100)は前年度と同数。
- 教育(123)は、2年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率は3年ぶりに3倍を上回った。
- 共創(107)は、やや増加で3年ぶり増加。
- 理(97)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。2020年度から前年度の反動による増減が継続。学科別では、5学科中3学科が減少。(地球惑星科学)(86)、(物理)(90)、(生物)(92)はいずれも前年度増加の反動で減少。一方で、(化)(108)、(数)(104)はいずれも2年連続増加。
- 工(97)は、前年度まで3年連続前年度並からやや減少。しかし、志願倍率は2021年度の改組以降4年連続ほぼ2.2倍で大きな変化なし。学科群別では、(融合基礎工/機械電気)・(機械工)・(航空宇宙工)・(量子物理工)を含む(III群)(123)、(建築)の(V群)(120)はいずれも大幅増加、(船舶海洋工)・(地球資源システム工)・(土木工)を含む(IV群)(112)は増加。一方で、(材料工)・(応用化)・(化学工)・(融合基礎工/物質材料)を含む(II群)(76)、(電気情報工)の(I群)(79)はいずれも大幅減少、入学時に特定の学科または学科群を選択しない(VI群)(89)は減少。
- 芸術工(109)は、増加。2020年度の改組以降では志願者数は最多、志願倍率も3.6倍→3.9倍にアップし最高。(学科一括)(126)は大幅増加で2年連続増加。学科別では、(芸術工/未来構想デザイン)(355)は前年度半減以下の反動で3.5倍以上、2020年度の改組後では最多。志願倍率も2.0倍→7.1倍に大幅アップし、芸術工の募集単位では前年度最低倍率だったが一転最高倍率となった。(芸術工/メディアデザイン)(128)も大幅増加。一方で、(芸術工/インダストリアルデザイン)(77)、(芸術工/音響設計)(78)は大幅減少、(芸術工/環境設計)(90)は減少。
- 医(医)(99)は、前年度減少の反動はなく、前年度並。
- 医(保健)(99)は、前年度大幅増加の反動はなく、前年度並。専攻別では、(保健/看護)(114)は前年度大幅増加に引き続き増加。一方で、他の2専攻は(保健/放射線技術科学)(88)、(保健/検査技術科学)(89)といずれも減少。
- 医(生命科学)(132)は、2年連続大幅増加。志願倍率は3.2倍→4.2倍にアップし、4年ぶりに4倍を上回った。
- 歯(96)は、2年連続やや減少。
- 薬(92)は、減少。志願者数は4年ぶりに200人を下回った。学科別では、薬剤師養成の(臨床薬)(89)は減少、創薬系の(創薬科学)(95)はやや減少と2学科のいずれも減少。

○農(118)は、前年度減少の反動で大幅増加。志願倍率は 2.2 倍→2.6 倍とアップし、11 年ぶりに 2.5 倍を上回った。

<後期日程>

- 文(183)は、激増で 5 年ぶりの増加。志願倍率は 7.9 倍→14.4 倍にアップ。募集人員が 22 人となった 2018 年度以降では最多。
- 法(87)は、前年度大幅減少に引き続き減少。志願倍率は 7 年ぶりに 8 倍を下回った。
- 経済(130)は、大幅増加。学科別では、文系の(経済・経営)(166)は前年度半減以下の反動で激増。一方で、理系の(経済工)(81)は前年度激増の反動で大幅減少、2018 年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 理(93)は、やや減少で 3 年連続減少。学科別では、(物理)(85)の大幅減少、(地球惑星科学)(86)の減少が目立った。(化)(101)、(生物)(100)は前年度並。
- 工(101)は、前年度減少の反動はなく、前年度並。学科群別では、募集を行う 5 学科群は前年度全て減少だったが、(VI 群)(91)、(I 群)(92)は引き続き減少。一方で、(II 群)(124)は反動で大幅増加。(III 群)(102)、(IV 群)(101)は前年度並。
- 薬(90)は、減少。学科別では、(臨床薬)(77)は大幅減少で 4 年ぶり減少。一方で、(創薬科学)(103)は前年度大幅増加に引き続きやや増加、志願倍率は 15.5 倍→16.0 倍にアップし、16 倍に達した。
- 農(113)は、2 年連続増加。志願者数は 3 年ぶりに 200 人を上回った。